

花(カ)くみ

代 表：齋藤 恭子

住 所：伊丹市伊丹1-10-15

T E L：072-771-8501

休 業 日：毎週火・木曜日



今回は、JR伊丹駅から徒歩2分、アリオI 1Fにある「花(カ)くみ」さんをご紹介します！



沿革

店主の齋藤代表は創業前、別の仕事をしており、趣味で生け花教室やアートフラワー教室などに通っていた。いずれはお花にまつわる仕事をしたいと考えていたところ、同地で開業していた方の退店をきっかけに、平成12年11月11日アリオIに開業した。店舗名の由来は生け花の師匠を意味する「花匠(ハナショウ)」という言葉を意識し、「匠」を「カクミ」ともじって名付けられた。昨年(2022年)の11月を経て、創業24年を迎えた。



実績

個人のお客様を始め、従業員の誕生祝いのプレゼントや、動物病院の供花、市内中小学校の卒業式での花束贈呈など、伊丹市内だけでも幅広い実績がある。また、日本全国約4,000店からなる花店の配達ネットワーク「花キューピット」も取り扱っている。

当会議所の新年互礼会や表彰式など各種事業においても、会場に花を添えていただいている。



“暮らしにお花を!”をモットーに

店舗では数多くの種類の花を取り揃えており、八重のゆりなど希少なお花が仕入れられることもある。創業以来、齋藤氏自らが仕入れを行っており、「このお花をあげたい!」と思ってもらえるように、季節感を大事にしている。「お花が生活の一部となるようにしたい」と齋藤氏は語る。



フラワーアレンジメント教室と「書と花のコラボ展」

毎月第3日曜日にフラワーアレンジメント教室を開講している。技術や知識の向上を目的に齋藤氏自らが講師を行う。経験の有無を問わず、数多くの生徒が在籍し、小学生も受講するなど和気あいあいとした雰囲気で行っている。また、フラワーデザイナー資格、検定合格に向けた筆記・実技試験対策の指導なども行う。

昨年2月に伊丹市立図書館(ことば蔵)で開催した「書と花のコラボ展」では、東有岡で書道教室を行っている野々上圭璋さんとタイアップして、野々上さんの作品にあった花の活け方を齋藤氏を中心にデザイン教室の生徒が考え、斬新な表現手法で展示されたという。図書館の来館者からも好評を得ることができ、展示会は大成功で終わることができたと嬉しそうに語ってくれた。



このお花が部屋にあると、どう感じますか?

齋藤氏は来訪したお客様にこのように問いかける。お花を求められるお客様は皆、事情が違う。プレゼントか、お部屋のワンポイントに飾りたいのか、それとも誰かを元気づけたいのか、それぞれの事情に即したお花を考え、ご提案していきたいと語ってくれた。

これから退職や卒業シーズンを迎えますが、お世話になった方へ感謝の気持ちをお花で表現してみたいか、いかがでしょうか。

